



来夏の富士登山に向けた対応

1 今夏の富士登山の状況

- ・本日、富士山閉山となるが、9月4日時点で、前年比94.4%であり、登山者数の増加はみられなかった。
- ・Webを活用した事前登録システムを試行した結果、夜間登山者数の減少など一定の効果があった。一方、死亡事故の増加や、夜通しの弾丸登山、軽装登山などのルール・マナー違反が引き続き散見された。

●登山者数（9月4日時点）

（環境省発表資料）

年	登山口 静岡県	静岡県			山梨県
		富士宮ルート	御殿場ルート	須走ルート	吉田ルート
2024	74,803人	47,497人	10,181人	17,125人	103,282人
2023	79,276人	46,945人	14,807人	17,524人	128,414人
2024/2023	94.4%	101.2%	68.8%	97.7%	80.4%

*須走ルート7日間、御殿場ルート17日間欠測あり

●システム認証者数（9月4日時点）

54,810人 [静岡県側登山者数（74,803人）に占める割合 73.3%]

2 来夏の富士登山に向けた方針

今夏の富士登山の状況を踏まえ、更なる安全登山に対する周知・理解促進が必要であるため、山梨県と足並みを揃えた条例による登山規制及び通行料の徴収を検討する。

3 今後の対応

- (1) 国や地元市町・関係者と協議を進める。
- (2) 登山規制実施に必要な現地調査を行う。
ゲート設置等受付体制の整備案、運用コストの検討等
- (3) 入山管理システムを構築する。（Web事前登録システムをベース）
ルール・マナー等の事前学習機能の強化
気象情報等の配信、入山料の決済機能等の追加